

# 事業の概要について

---

令和7年1月31日  
岡山県県民生活部国際課

---

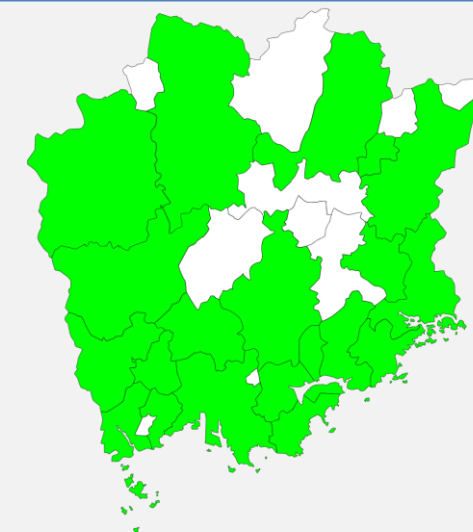
# 現状と課題

県内の在留外国人数  
37,129人  
(令和6年6月末時点)

過去最高を更新

県内在住外国人の  
不安やトラブルの原因

「言葉」に関する  
回答が最多



県内10市町村が空白地域

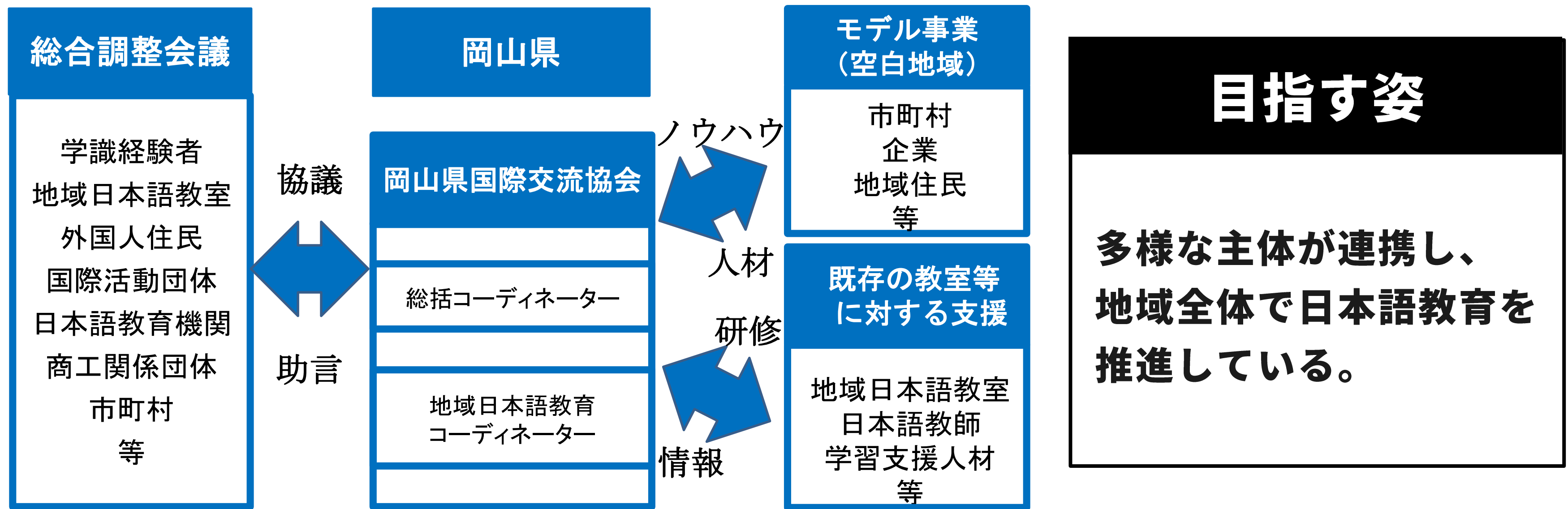
※空白地域: 日本語教室がない市町村

1 地域の状況に応じた日本語教育を推進するための総合的な体制整備が必要

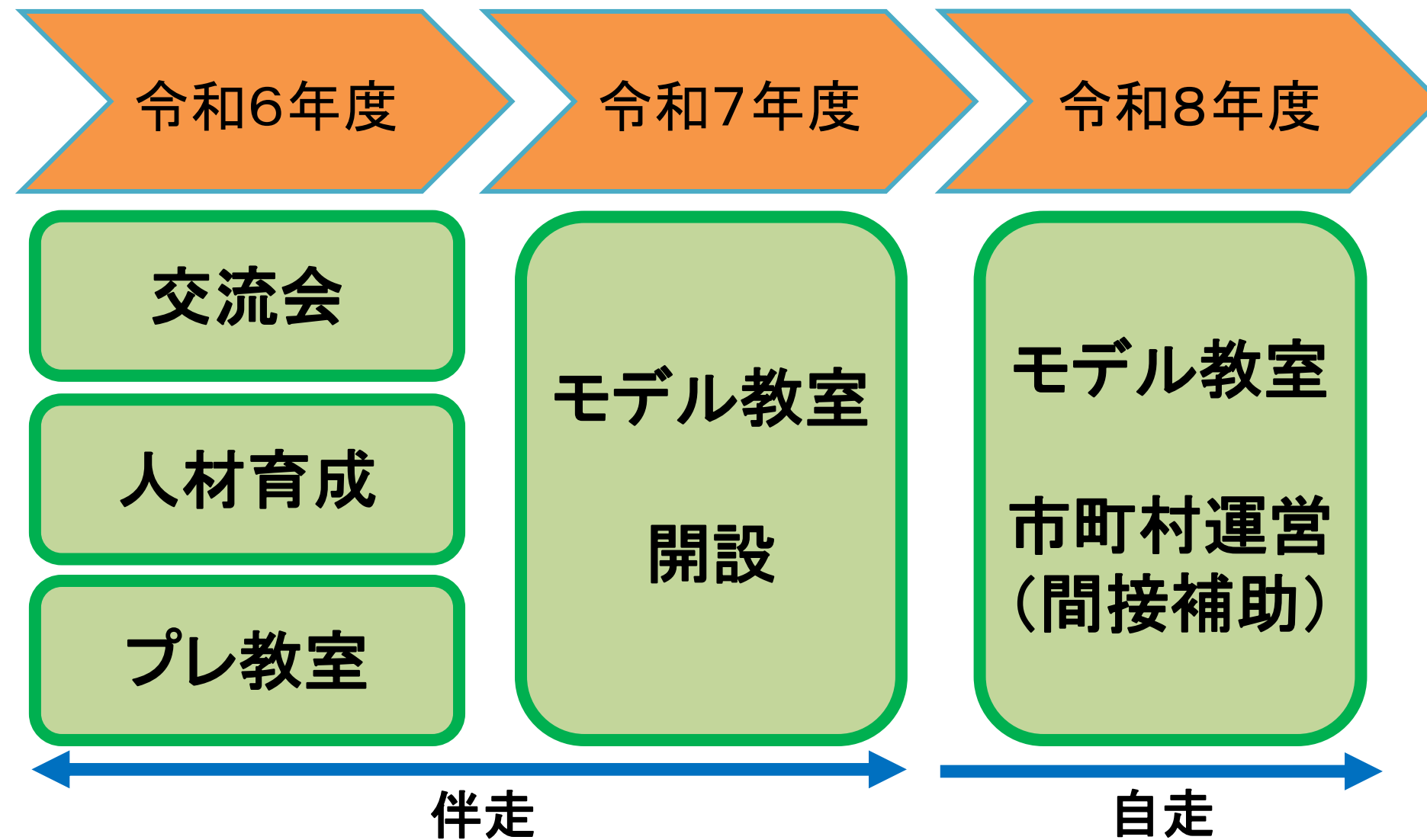
2 在住外国人の日本語学習機会を確保するため、空白地域の解消に向けた取組が必要

3 地域日本語教育の活動を支援するための人材育成・教育実践・環境整備等が必要

地域の状況に応じた日本語教育を推進するための総合的な体制整備が必要



在住外国人の日本語学習の機会を確保するため、空白地域の解消に向けた取組が必要



## 目指す姿

誰もが身近な場所で生活に必要な日本語能力を習得できる。  
地域日本語教室が地域参加の入口やセーフティネットとして地域外国人支援の拠点となる。

地域日本語教育の活動を支援するための人材育成・教育実践・環境整備等が必要

### 人材育成

#### ○スキルアップ研修



### 教育実践

- ・仕事や子育てで時間がない
  - ・移動手段がない
- ＝教室へ通うことが困難



#### ○オンライン日本語講座

### 環境整備

#### ○リソースコーナー



## 目指す姿

日本語教育の活動が  
それぞれの地域で  
継続的かつ安定的に  
実践されている。

引き続き、岡山国際交流センターを中心として、県内日本語教育環境の強化に取り組む。